

A large, abstract, colorful swirl graphic on the left side of the slide, transitioning from dark blue to orange, yellow, and pink.

賢く使おう！ ArcGIS Online のサービスクレジット

ESRIジャパン株式会社



本日の内容

1. ArcGIS Online のサービス クレジットとは
2. クレジットを消費するタイミング
3. メンバーとしてクレジットをうまく使うコツ
4. 管理者としてクレジットを管理するコツ
5. クレジット消費に関する注意事項





1. ArcGIS Online のサービス クレジットとは

ArcGIS Online のサービス クレジット



- ArcGIS Online 上で利用できる通貨
- 組織サイトにあらかじめ規定量のクレジットが付与される
- 各種サービスの使用量に応じて消費



ストレージ



解析



ジオコーディング



ジオエンリッチメント



タイルの生成

組織サイトに付与されるクレジット

- ・ 指定ユーザーのタイプによって付与されるクレジットが異なる
- ・ 全ユーザーの合計のサービス クレジットが組織サイトに付与される

例



Creator

Creator 500クレジット/年
 $500 \times 3 \text{ ユーザー} = 1500 \text{ クレジット}$

詳しくは [ArcGIS Online クレジット](https://www.esri.com/ja-jp/arcgis/products/credits/overview) を参照

URL: <https://www.esri.com/ja-jp/arcgis/products/credits/overview>



クレジットの追加、有効期間

- 追加クレジットは ESRIジャパン ショップ から購入可能
 - 1,000 クレジット (1 ブロック)、5,000 クレジット (5 ブロック) 単位
 - ESRIジャパンショップ URL : <http://shop.esri.com/shopbrand/ct43>
- クレジットの有効期間
 - 組織サイトに付与されるクレジット → 1 年間
 - 追加購入したクレジット → 2 年間

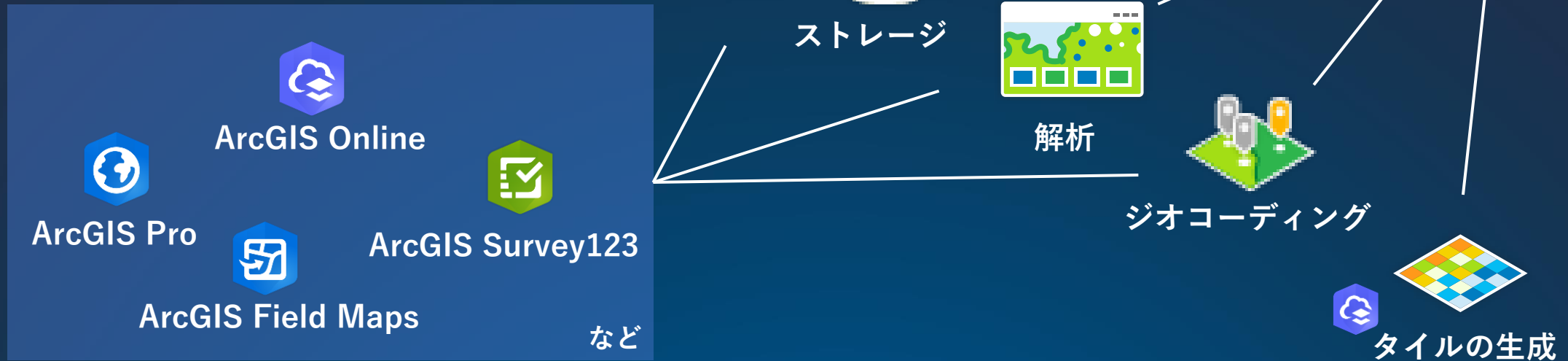
組織サイトに付与されるクレジットは、次年度に持ち越しできない



2. クレジットを消費するタイミング

クレジットを消費する場面

- データストレージ
- ArcGIS Online のサービスを利用した解析機能
- タイル生成



詳しくは [クレジットの概要—ArcGIS Online ヘルプ | ドキュメント](https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm#ESRI_SECTION1_709121D2C7694DCAB9B8592F36F7A5BA) を参照

URL: https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm#ESRI_SECTION1_709121D2C7694DCAB9B8592F36F7A5BA

データ ストレージ

- フィーチャ レイヤー
 - 10 MB のデータ保存で月 2.4 クレジット消費

一都三県_住居形態

 サムネイルの編集



☆ お気に入りに追加

一都三県の住居形態を表したレイヤーです。

 Feature Layer (ホスト) 作成者 

作成日時: 2021/09/09 更新日: 2021/09/09 ビュー数: 3

詳細

ソース: [Feature Service](#)

作成元: [一都三県_住居形態](#), Service Definition

データの最終更新日: 2021/09/09 13:20:55

サイズ: 28 MB

 **Feature Layer (ホスト) と表示**

➤ この例では 6.7/月 消費
 $28\text{MB} \div 10\text{MB} \times 2.4\text{クレジット} \div 6.7$

データ ストレージ

- タイル レイヤー
- Web マップ
- PDF ファイル、Microsoft Office ドキュメント(*)
(*)ホスト フィーチャ レイヤーと ArcGIS Notebooks 内のコンテンツを除く
すべてのコンテンツ
 - 1 GB のデータ保存で月 1.2 クレジット消費

ボルネオ島森林消失_2000_2020_WTL1 

 サムネイルの編集



2000年から2010年までのボルネオ島の森林消失を示したマップです。

 Tile Layer (ホスト) 作成者  [@mike_sullivan](#)

作成日時: 2021/05/14 更新日: 2021/09/13 ビュー数: 374

☆ お気に入りに追加

➤ ラスター タイルの場合
 Tile Layer (ホスト) と表示

データ ストレージ - まとめ



機能	消費クレジット
フィーチャ レイヤーの保存 (フィーチャ アタッチメント、フィーチャ コレクション、 位置情報に関連付くフィーチャを除く)	10 MB の保存で月 2.4 クレジット
ホスト イメージ レイヤーの保存	1 GB の保存で月 1.2 クレジット ※タイル イメージの場合。ダイナミック イメージ の場合は画像のサイズと数に基づいて計算。
ホスト フィーチャ レイヤーと ArcGIS Notebooks 内の コンテンツを除くすべてのコンテンツの保存 - Web マップの保存、PDF ファイルの各種アイテムの保存	1 GB の保存で月 1.2 クレジット

(1 時間単位の計算)

ArcGIS Online のサービスを利用した解析



- ArcGIS Online
 - 空間解析：ポイントの集約などの解析ツール
 - ネットワーク解析：ルート解析、到達圏の解析など
 - ジオコーディング：ArcGIS World Geocoding Service はクレジットを使用
- ArcGIS Pro
 - ネットワーク解析：ルート解析、到達圏の解析など
 - ジオコーディング：ArcGIS World Geocoding Service はクレジットを使用



ArcGIS Online のサービスを利用した解析 – まとめ



	機能	使用クレジット
空間解析	ポイントの集約・フィーチャの結合 近接範囲内での集計・エリア内での集計	1,000 フィーチャにつき 1 クレジット
ネットワーク解析	移動コストの計算 (単純ルート)	1 件につき 0.005 クレジット
	移動エリアの生成 (到達圏)	1 件につき 0.5 クレジット
	ルート計画 (複数車両によるルート)	1 件につき 1 クレジット
ジオコーディング	住所のジオコーディング (データ保存) ArcGIS World Geocoding Service	1,000 件につき 40 クレジット
データの情報付加	レイヤーへの情報付加 (ArcGIS GeoEnrichment Service)	1,000 件につき 10 クレジット

- ✓ 多くのクレジットを消費する解析を頻繁に行う場合、ArcGIS 製品で利用できるデータコンテンツを購入することで、解析によるクレジット消費を抑制することが可能
(参照: [GIS データストア](https://www.gisdata-store.biz/) URL: <https://www.gisdata-store.biz/>)

タイル生成や統計データの参照



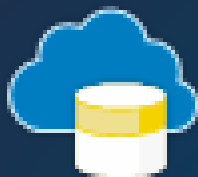
	機能	消費クレジット
データの生成	タイル生成	10,000 タイルの生成につき 1 クレジット
人口統計データ	インフォグラフィックスの表示	1,000 ビューにつき 10 クレジット
	インフォグラフィックスの エクスポート	1 回のエクスポートにつき 10 クレジット
	人口統計マップとレイヤーの表示	1,000 マップ リクエストにつき 10 クレジット (画面移動、ズーム、および属性表示)

- ✓ ArcGIS Pro でタイルを生成して ArcGIS Online にアップロードする場合、タイル生成のクレジットは消費されない

クレジットを消費する場面－まとめ



- ・ データストレージ
- ・ ArcGIS Online のサービスを利用した解析
- ・ タイル生成



ストレージ



解析



ジオコーディング



ジオエンリッチメント



タイルの生成

詳しくは [クレジットの概要—ArcGIS Online ヘルプ | ドキュメント](https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm#ESRI_SECTION1_709121D2C7694DCAB9B8592F36F7A5BA) を参照

URL: https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm#ESRI_SECTION1_709121D2C7694DCAB9B8592F36F7A5BA

クレジットの概要は分かったけれど・・・



消費したクレジットは
どこで確認できる？

組織のメンバーがクレジットを
使いすぎないように制限したい



解析する前に、どのくらい
クレジットを消費するか
確認できる？



3.メンバーとしてクレジットをうまく使うコツ

解析実行前に消費クレジットを確認



- Map Viewer で解析ツールを実行する前に [クレジットの推定] をクリックすることで、解析ツールの使用で消費されるクレジット数を確認

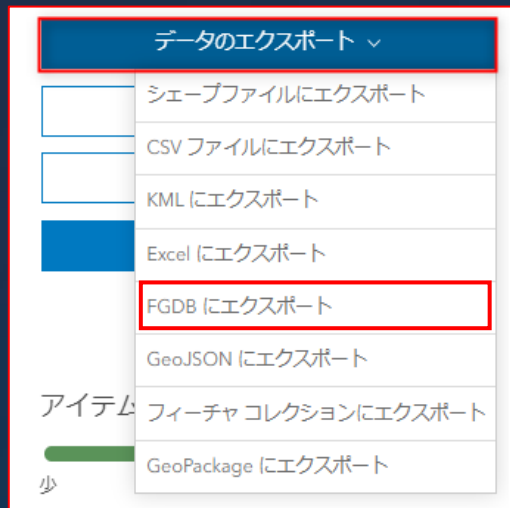


- ArcGIS Pro でクレジットを使用する解析を行う場合、実行前に必要クレジットの推定が必要

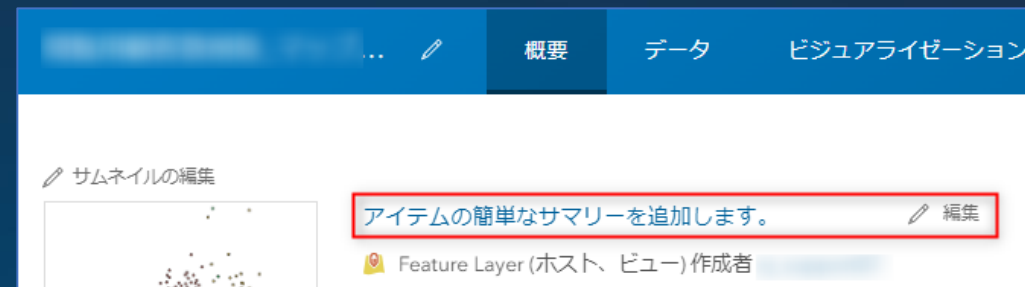


データの整理整頓

- ArcGIS Online での保存が不要なデータはファイル ジオデータベース等にエクスポート後、ローカル データとしてダウンロードし ArcGIS Online のデータは削除



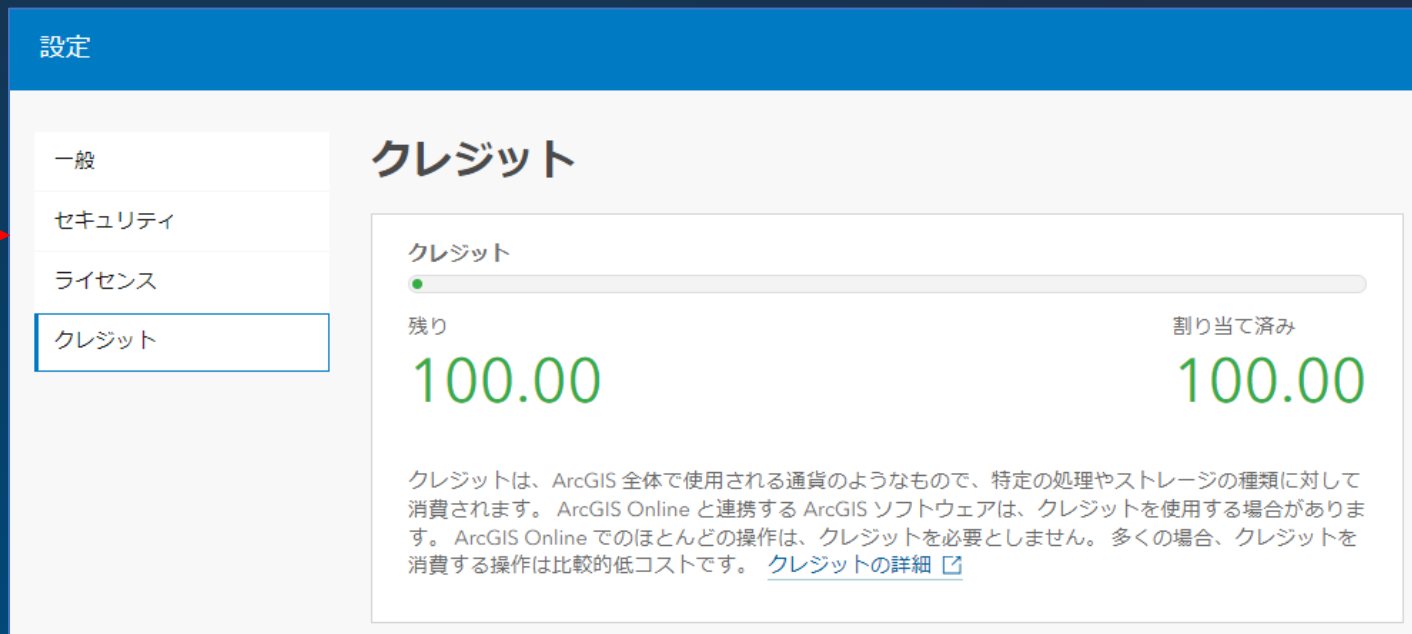
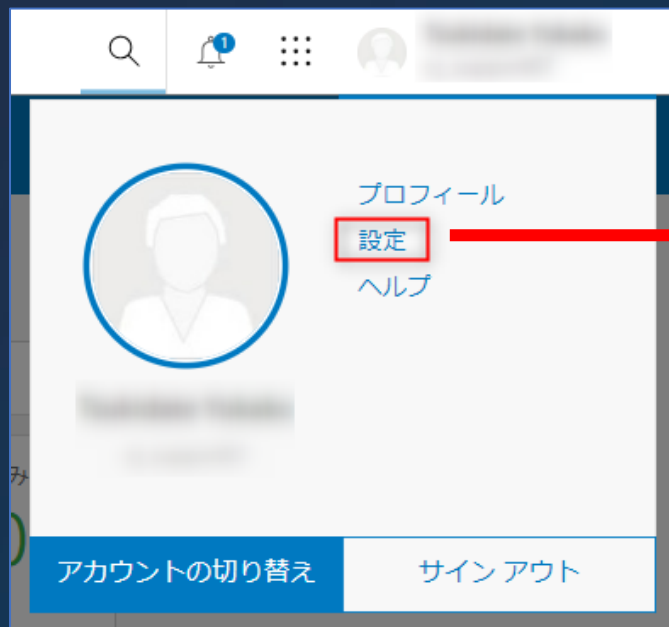
✓ 「不要なデータ」を確認しやすくするために
→アイテムのサマリーを入力して詳細を把握



- ArcGIS Online にアップロードした際のファイル サイズを確認
 - ローカル フォルダでのファイル サイズと、ArcGIS Online にアップロードした際のファイル サイズは異なる
 - ArcGIS Online にアップロードしてファイル サイズ確認後に ArcGIS Online から削除

自身が利用可能なクレジット数を確認

- ArcGIS Online 管理者がクレジットを割り当てている場合、ユーザーはサインイン後の右上のアイコンから [設定] → [クレジット] タブで割り当てられているクレジット数と残りのクレジット数の確認が可能





4.管理者としてクレジットを管理するコツ

クレジット使用制限ツールの有効化

- ・ 管理者がメンバーのクレジット上限を設定



クレジット使用制限ツールの有効化

- ・メンバーは自分に割り当てられたクレジットの範囲内で解析等を行う



管理者



メンバー

クレジット

クレジット割り当て

組織の一部またはすべてのメンバーにクレジットを柔軟に割り当てる使用制限を作成することで、消費を管理して制御します。任意のクレジットを、一度に1人または、一括処理で各メンバーに割り当てるができます。メンバーへの割り当ては、いつでも変更できます。 [クレジット管理の詳細](#)

クレジット使用制限ツールの有効化



各メンバーの利用可能なクレジットを設定ページに表示



- ✓ [組織] → [設定] → [クレジット] で設定

クレジット

クレジット

残り

100.00

割り当て済み

100.00

クレジットは、ArcGIS 全体で使用する通貨のようなもので、特定の処理やストレージの種類に対して消費されます。ArcGIS Online と連携する ArcGIS ソフトウェアは、クレジットを使用する場合があります。ArcGIS Online でのほとんどの操作は、クレジットを必要としません。多くの場合、クレジットを消費する操作は比較的低コストです。 [クレジットの詳細](#)

- ✓ ArcGIS Online 画面右上のプロフィール → [設定] → [クレジット] で割り当てられたクレジットを確認

カスタム ロールの作成

- 特定の権限を持たないロールを作成
 - クレジットを消費するツールの意図しない使用を制限

デフォルト ロール



設定された権限の変更は不可
閲覧者、データ編集者、ユーザー、
公開者、ファシリテーター、管理者

カスタム ロール



デフォルト ロールに基づいて、
独自の権限を設定
例) ジオエンリッチメント権限がない公開者

カスタム ロールの作成



・ ロールの種類

メンバー ロール	権限	内包するロール
閲覧者	・ 組織に共有されたマップやアプリにアクセス ・ グループに加入してアイテムを閲覧	
データ編集者	・ フィーチャを編集	閲覧者
ユーザー	・ マップの作成、アイテムの追加 ・ コンテンツの共有およびグループの共有	データ編集者
公開者	・ フィーチャ レイヤーなどを Web レイヤーとして公開 ・ レイヤーの解析	ユーザー
ファシリテーター	・ パートナー コラボレーションの作成、管理	公開者
管理者	・ 組織とその他のメンバーを管理	ファシリテーター



クレジットを消費する権限を保有

カスタム ロールの作成

- 動画 : [組織] → [設定] → [メンバー ロール] で [ロールの作成] ボタンから作成

ロールの作成

✓ プレミアム コンテンツ 有効化: 0/8 [すべて有効](#)

ジオコーディング

メンバーは、ArcGIS World Geocoding Service (または、このロケータのビュー) を使用して、クレジットを消費するジオコーディング タスクを実行できます。 [詳細](#)

ネットワーク解析

メンバーは、ルート検索や到達圏などのネットワーク解析タスクを実行することができます。

空間解析

メンバーは、空間解析タスクを実行できます。

ジオエンリッチメント

メンバーは、フィーチャをジオエンリッチメントできます。

人口統計

メンバーは、プレミアム人口統計データを利用できます。

画像解析

メンバーは、画像解析タスクを実行できます。 ArcGIS Image for ArcGIS Online ユーザー タイプ エクステンションが必要です。

高度なノートブック

メンバーは、ArcPy モジュールをインポートしてノートブックで使用できます。

フィーチャ レポート

メンバーは、Survey123 でフィーチャ レポートを作成することができます。

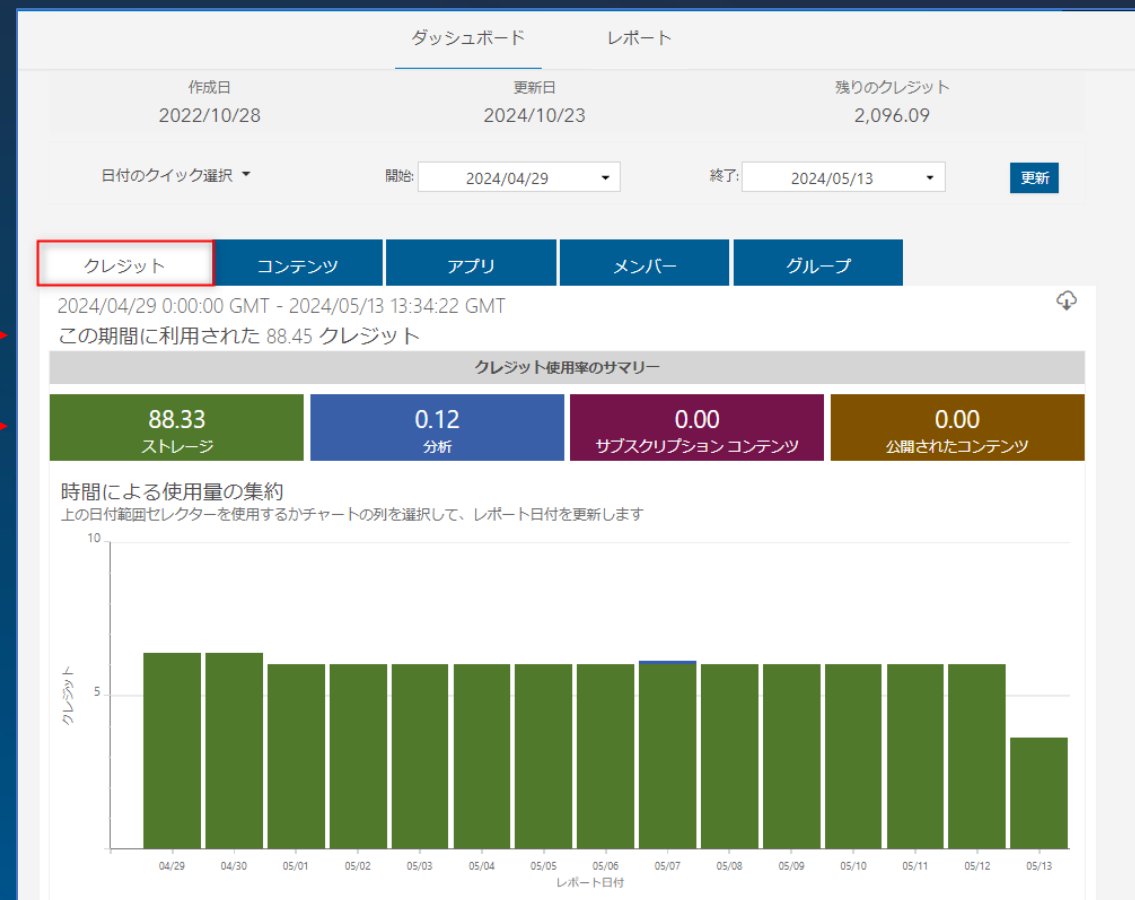
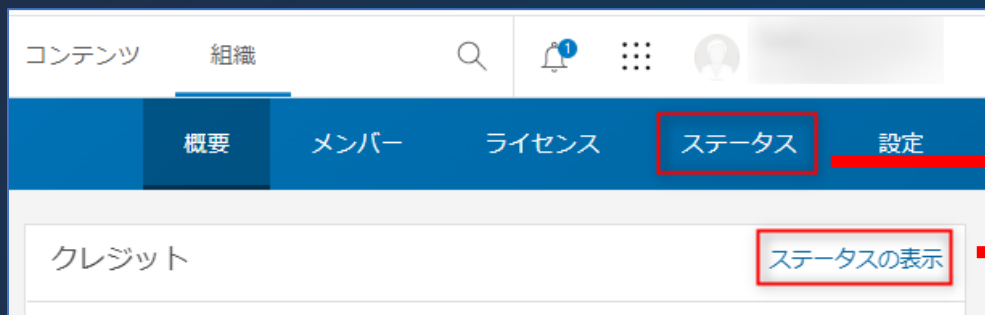
組織のクレジット使用状況を把握

- ArcGIS Online → [組織] → [概要] からクレジット使用状況を確認



組織のクレジット使用状況を把握

- ArcGIS Online → [組織] → [ステータス] または [ステータスの表示] からクレジット使用状況を確認



ダッシュボード：任意の期間を設定

ダッシュボード

レポート

作成日
2022/10/28

更新日
2024/10/23

残りのクレジット
2,096.09

日付のクイック選択 ▾

開始: 2024/04/29 ▾

終了: 2024/05/13 ▾

更新

クレジット

コンテンツ

グループ

2024/04/29 0:00:00 GMT - 2024/05/13 13:3

この期間に利用された 88.45 クレジット

88.33
ストレージ

0.00
ブションコンテンツ

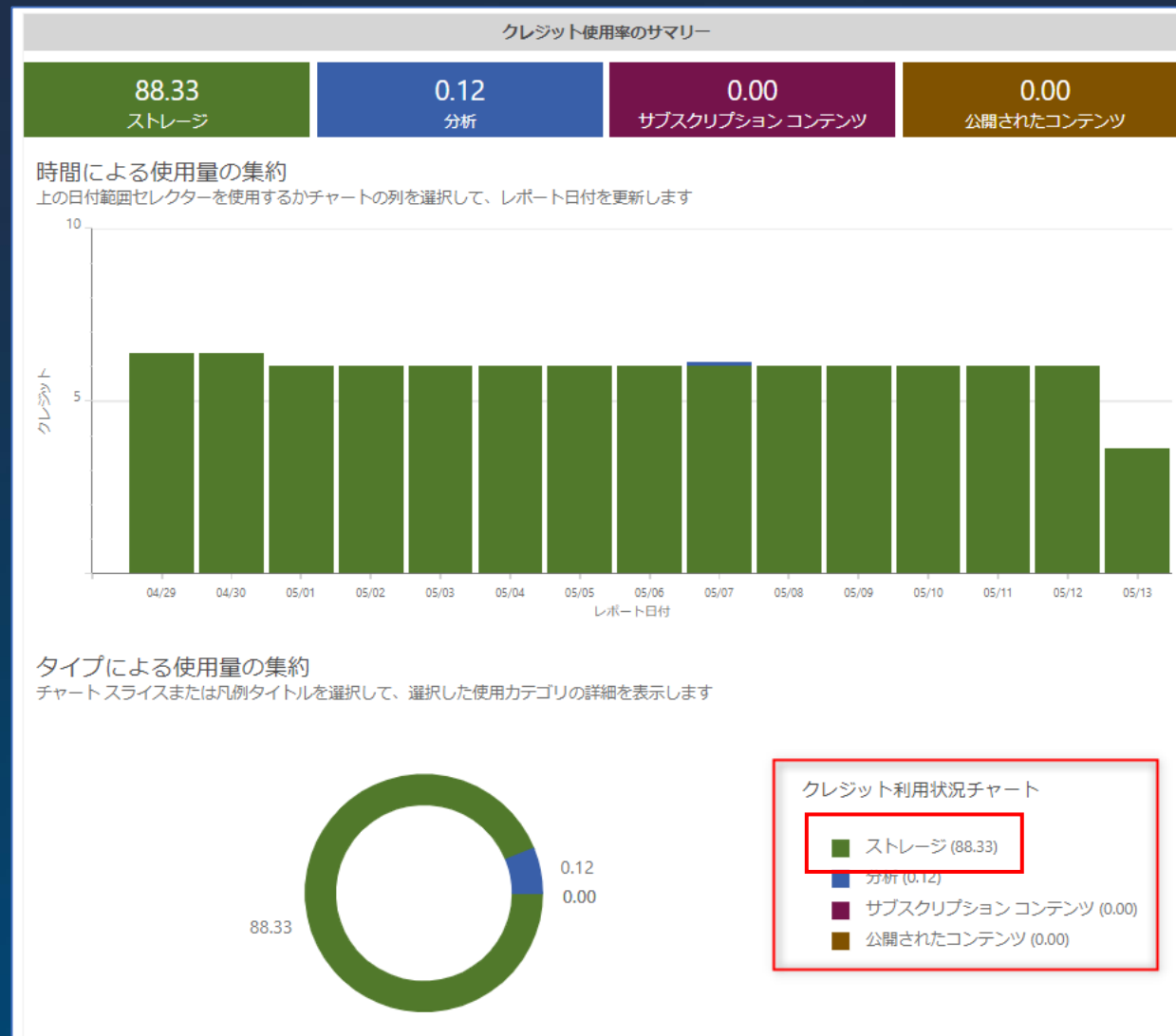
0.00
公開されたコンテンツ

時間による使用量の集約

上の日付範囲セクターを使用するかチャートの列を選択して、レポート日付を更新します

10

クレジット利用状況チャート



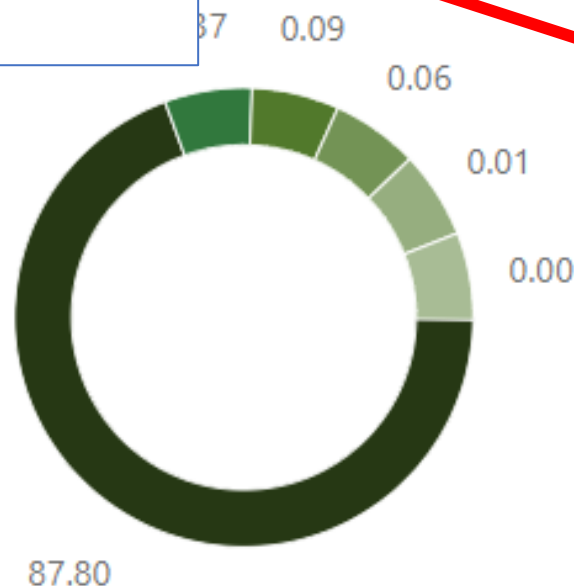


ストレージ利用状況チャート

クレジット利用状況チャート

- ストレージ (88.33)
- 分析 (0.12)
- サブスクリプション コンテンツ (0.00)
- 公開されたコンテンツ (0.00)

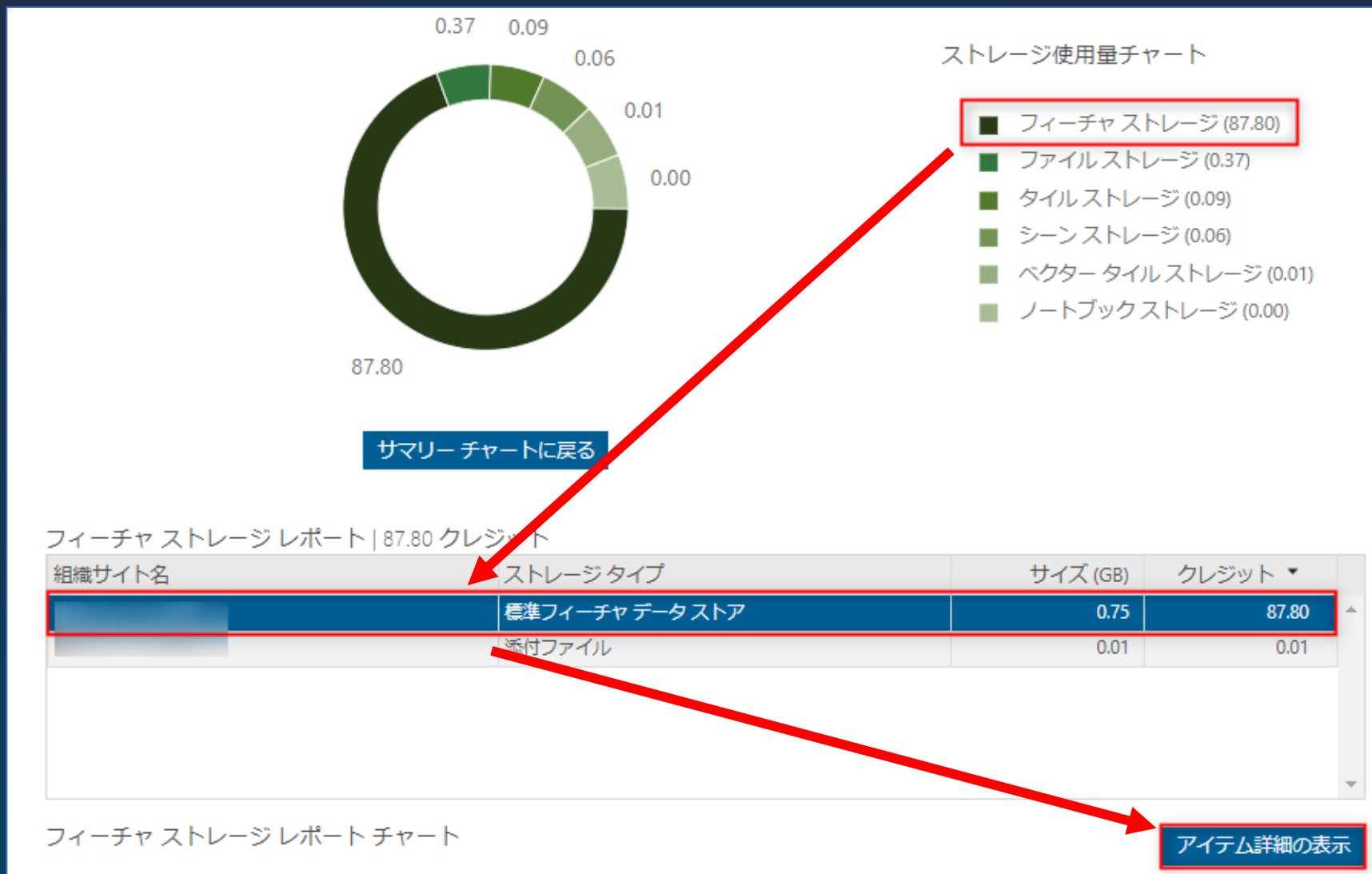
選択した使用カテゴリの詳細を表示します



ストレージ使用量チャート

- フィーチャストレージ (87.80)
- ファイルストレージ (0.37)
- タイルストレージ (0.09)
- シーンストレージ (0.06)
- ベクター タイルストレージ (0.01)
- ノートブックストレージ (0.00)

ストレージ利用状況チャート



ストレージ利用状況チャート



データベースストレージの詳細

このレポートには、ストレージクレジットを消費する組織のホストレイヤーのリストが表示されます。レイヤーは、サイズの降順で表示されます。

タイトル	所有者	サイズ	作成日	更新日
		546 MB	2024/04/09	2024/04/09
		113 MB	2024/04/16	2024/04/16
		42 MB	2023/09/13	2023/10/19
		23 MB	2024/05/10	2024/05/13
		12 MB	2024/01/24	2024/01/24
		7.65 MB	2023/11/17	2023/11/17
		3.66 MB	2023/09/01	2023/09/01
		3.24 MB	2024/03/07	2024/03/07
		2.98 MB	2024/04/09	2024/04/09

1 - 50 / 205

< 1 >

サマリーチャートに戻る



5. クレジット消費に関する注意事項

注意点①：変更ログ

- ・ [データの変更] または [同期の有効化] オプションを有効化している場合は変更ログが保存される
 - 変更ログのサイズが大きくなると、データ ストレージのクレジット消費につながる

Feature layer (ホスト)

編集

- ☒ 編集の有効化
- ☒ データの変更 (フィーチャの追加、更新、削除) を記録します。 [変更ログの管理](#)
- ☒ データを編集したユーザー (編集者名、編集日時) を記録します。
- ☒ 同期の有効化 (オフラインでの使用および共同作業のために必要)。

変更ログの管理

データの変更は変更ログに記録されます。時間の経過とともにログのサイズが大きくなるにつれ、追加のクレジットが消費されます。ログを定期的に削減することで、古いエントリを削除してサイズを小さくできます。

同期と自動タイル生成では変更ログを利用します。削減を行う前に、指定した日数より古い編集内容を同期し、関連するタイルレイヤーでタイルを更新してください。

ログに変更を保持する日数を選択します。

キャンセル

変更ログの削減

詳しくは [変更ログのサイズの管理—ArcGIS Online ヘルプ | ドキュメント](#) を参照

URL: https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/manage-data/manage-hosted-feature-layers.htm#ESRI_SECTION1_030A9819DFF7498E9DFCDE6030E5FFBA

注意点②：データ容量

- 全国版のデータ等、容量の大きいデータを扱う際は ArcGIS Online にアップロード前に不要なデータがないか確認
 - 必要なフィールドのみをエクスポートしてアップロード用のデータを用意

都道府県別人口動態																																
メニュー 開く 閉じる 計算 選択した項目で選択 選択した項目で選択																																
OBJECTID * Shape * リンクコード 都道府県名 面積(平方km) 人口_総数_H27 人口_男_総数_H27 人口_女_総数_H27 世帯数_総数_H27 人口_年齢別_H27 人口_0-4歳_H27 人口_5-9歳_H27 人口_10-14歳_H27 人口_15-19歳_H27 人口_20-24歳_H27 人口_25-29歳_H27 人口_30-34歳_H27 人口_40-44歳_H27 人口_45-49歳_H27 人口_50-54歳_H27 人口_55-59歳_H27 人口_60-64歳_H27 人口_65-69歳_H27 人口_70-74歳_H27 人口_75-79歳_H27 人口_80-84歳_H27 人口_85-89歳_H27 人口_90-94歳_H27 人口_95-99歳_H27 人口_100歳以上_H27 人口_高齢率_H27 人口_総数_H27																																
1	2	ポリゴン	01	北海道	83470.946466	5381733	2537089	2844644	2444810	5381733	186010	202269	220517	239088	234274	247587	1	391243	350794	345536	343804	413045	440646	341850	293306	235663	149960	65902	17225	2635	24246	255820
2	2	ポリゴン	02	青森県	9629.903136	1308265	614694	693571	510943	1308265	42943	48296	56969	60960	50406	53303	2	86583	83018	86140	91982	104636	108925	82671	75431	65066	39015	15638	3655	539	11250	62804
3	3	ポリゴン	03	岩手県	15271.16226	1279594	615584	664010	493049	1279594	44460	50138	56394	58332	49304	54687		83625	77997	81816	88069	100272	100341	78913	75157	66196	42627	17864	4052	723	7143	61699

都道府県別人口密度

フィールド:

追加

計算

選択セット:

属性条件で選択

ズーム

切り替え

解除

削除

コピー

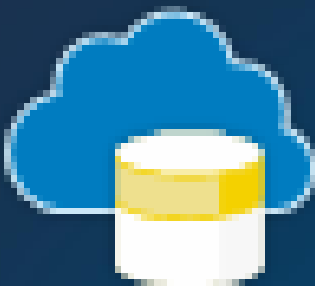
	OBJECTID *	Shape *	リンクコード	都道府県名	面積(平方km)	人口_総数_H27	人口_男_総数_H27	人口_女_総数_H27	世帯数_総数_H27
1	1	ポリゴン	01	北海道	83470.946466	5381733	2537089	2844644	2444810

- ArcGIS Pro で解析を行った後、必要なデータのみを ArcGIS Online にアップロード

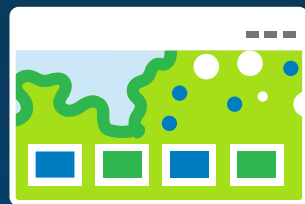
まとめ - クレジットを消費する主な機能

➤クレジットを消費する主な機能

データ ストレージ



解析



タイル生成



まとめ - クレジットをうまく「使う」「管理する」コツ



➤メンバーとして

- 解析実行前に消費クレジットを確認
- データの整理整頓
- 自身が利用可能なクレジット数を確認

➤管理者として

- クレジット使用制限ツールの有効化
- カスタム ロールの作成
- 組織のクレジット使用状況の把握

資料



- 製品ページ
 - ArcGIS Online 製品ページ: クレジット
<https://www.esri.com/products/arcgis-online/license/>
 - ArcGIS Online クレジット
<https://www.esri.com/ja-jp/arcgis/products/credits/overview>
 - ESRIジャパン データコンテンツ
<https://www.esri.com/products/data-content/>
 - ESRIジャパン ショップ
<https://shop.esri.com/shopbrand/ct43/>
- Esri ヘルプ ページ
 - クレジットの概要
<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm>
 - クレジットを使用するジオプロセシング ツール
<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/tool-reference/appendices/geoprocessing-tools-that-use-credits.htm>
 - 変更ログのサイズの管理
https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/manage-data/manage-hosted-feature-layers.htm#ESRI_SECTION1_030A9819DFF7498E9DFCDE6030E5FFBA

資料



- サービス クレジットに関するブログ記事
 - ArcGIS Online のサービス クレジット消費を抑えるために – データ・マップ作成の際のコツ
<https://blog.esri.com/2021/09/14/post-40097/>
 - ArcGIS Online のサービス クレジット消費を抑えるために – ArcGIS Pro でのタイル作成および解析のコツ
<https://blog.esri.com/2021/09/21/post-40209/>
 - クレジットを上手に使うためのヒント
<https://blog.esri.com/2021/08/13/post-39883/>
 - もう怖くない！ ArcGIS Online におけるクレジット～組織全体での効率的な活用法～
<https://blog.esri.com/2023/03/24/post-48548/>

ご参加いただき誠にありがとうございました。

アンケートのご協力をお願い致します。



<https://arcg.is/19De5P0>

